

# 第2回 リスナー参加型 天下一学問会

高校レベル

問題用紙

世界史

作問者：Unferth

問題数：大問3問

記述式

解答時間：40分

# 注意事項

1. 解答は専用フォームから行うこと

次ページより問題を掲載

## 世界史問題

**第1問** 次の文章を読んで問いに答えなさい。

伊藤 「久しぶりだなあ。佐々木」

佐々木 「こうして<sup>(1)</sup>喫茶店で会うのも1年ぶりか。まあ、お互い生きてるよう  
で良かったよ」

伊藤 「お前も昔はゲーマーだったな。アーマードコア6はやれたか？ 意外  
と歴史モチーフが多くてね」

佐々木 「たとえば？」

伊藤 「舞台は惑星<sup>(2)</sup>ルビコン」

佐々木 「そいつは直球だな」

伊藤 「多少時代考証が怪しい部分はあるがな。たとえば<sup>(3)</sup>借金をして返さな  
いパイロットとか」

佐々木 「そこまでいくなら<sup>(4)</sup>ソロンとかも出てるのか？」

伊藤 「どうもローマが基調らしくてね。ギリシアは出てこない。<sup>(5)</sup>カタフラ  
クトは出るんだがな」

佐々木 「全体的なモチーフは「一世紀の危機」あたりか？ ゲームにするんな  
ら展開に起伏が必要だからなあ」

伊藤 「いや、本当に名前を借りてるだけさ」

問1 フランス革命やピューリタン革命の際に、市民が交流した場所の名前をカ  
タカナで書きなさい。

問2 紀元前49年にルビコン川を渡り、首都ローマへ進軍した政治家の名前を答  
えなさい。

問3 第一回三頭政治に参加した資産家であり、紀元前53年にパルティア遠征を  
行った人物の名前を答えなさい。

問4 下線部(4)の人物が行った政治改革の一つであり、紀元前594年に制定され  
た政治制度を答えなさい。

問5 下線部(5)が活躍した東ローマ帝国の皇帝で、527-565年に在位し、東ロー  
マ帝国の最盛期を築いたとされる人物の名前を答えなさい。

**第2問** 次の文章を読んで問いに答えなさい。

ジョージ「今度は世界史の授業か。なんだか気が重い」

トーマス「おいおい、どうしてだい」

ジョージ「だってここ最近の授業と言えば戦争、戦争、また戦争だろう。退屈でたまらないね」

トーマス「でも文化の話もよく出ているだろう」

ジョージ「どうせ国宝がどうかって話で、俺らが触れるような話は出てこないだろ。Pokémonの話が授業で出てくるか？」

トーマス「考え方次第だな。Pokémonの<sup>(6)</sup>進化だって発想としては歴史的とも言えるかもしれない」

ジョージ「要するにこじつけだろ？」

トーマス「なら最近の話を調べてみなよ。今の国連の常任理事国は<sup>(7)</sup>第二次世界大戦の戦勝国って先生が言ってたぜ」

ジョージ「国連なんてそれこそ遠い話だね」

問6 1859年にチャールズ・ダーウィンが執筆し、進化論を世に広めた本の名前を答えなさい。

問7 1928年にフランスの外相とアメリカ合衆国の國務長官らの提唱によって調印された条約の名前を答えよ。回答は通称でも可。

### 第3問

私自身の専門領域で申しますと、<sup>(8)</sup>ロシア革命を実行した人たちは、<sup>(9)</sup>フランス革命、1848年の革命、1871年のパリ・コミューンの教訓を深く心にとどめて——とりつかれて、と言うべきでしょうか——おりました。

しかし、私は、歴史の二重性格が課している条件をここで思い出してみましよう。歴史から学ぶというのは、決してただ一方的な過程ではありません。

<sup>(10)</sup>過去の光に照らして現在を学ぶというのは、また、現在の光に照らして過去を学ぶということも意味しています。

歴史の機能は、過去と現在との相互関係を通して両者を更に深く理解させようとする点にあるのです。

E・H・カー『歴史とはなにか』岩波書店 1962年 抜粋

問8 下線部8の際にロシアが参戦していた戦争の名前を答えなさい。

問9 下線部9の際、民衆はそこに武器や弾薬があると考え、ある場所を襲撃した。その場所の名前を答えなさい。

問10 下線部10は歴史学者E・H・カーの考える歴史学の重要な特徴である。

以上を踏まえ、現代の視点でなにか一つの事柄を取り上げ、考察しなさい。

その際、必ず事実を書き、その後に評価(良い/悪い、好き/嫌い)を書くこと。

また、回答に使用できる歴史的事実を書いておく。題材に困った場合は使用してもよい。

- 明治時代、電車の中にはりんごの皮やバナナの皮がよく落ちていた
- ゲーテンベルクの活版印刷(だいたい1450年)以前、本は手で写されていて、その際に文字が抜けたり書き足されたりすることはよくあった
- トマトはアメリカ大陸原産で、元来イタリア料理には使われてこなかった。ここ100年の間にトマトを使ったイタリア料理が定着した
- 平安時代の将棋は持駒のルールがなく、チェスと同様に取った駒は使用できなかった
- チョコレートはアメリカ大陸原産で、1500年ごろはまだ非常に貴重で、王宮で人々が食べるぐらいだった。